



地球温暖化問題に関する県民・事業者アンケート調査の結果がまとまりました

4月からはいよいよ京都議定書の第1約束期間が本格的にスタートとなります。前回のニュースでもお知らせしたとおり、国では省エネ法、温対法の対象事業者を拡大する改正案を今国会に提出するなど、7月に開催される北海道洞爺湖サミットを前に温暖化対策を本格化させています。

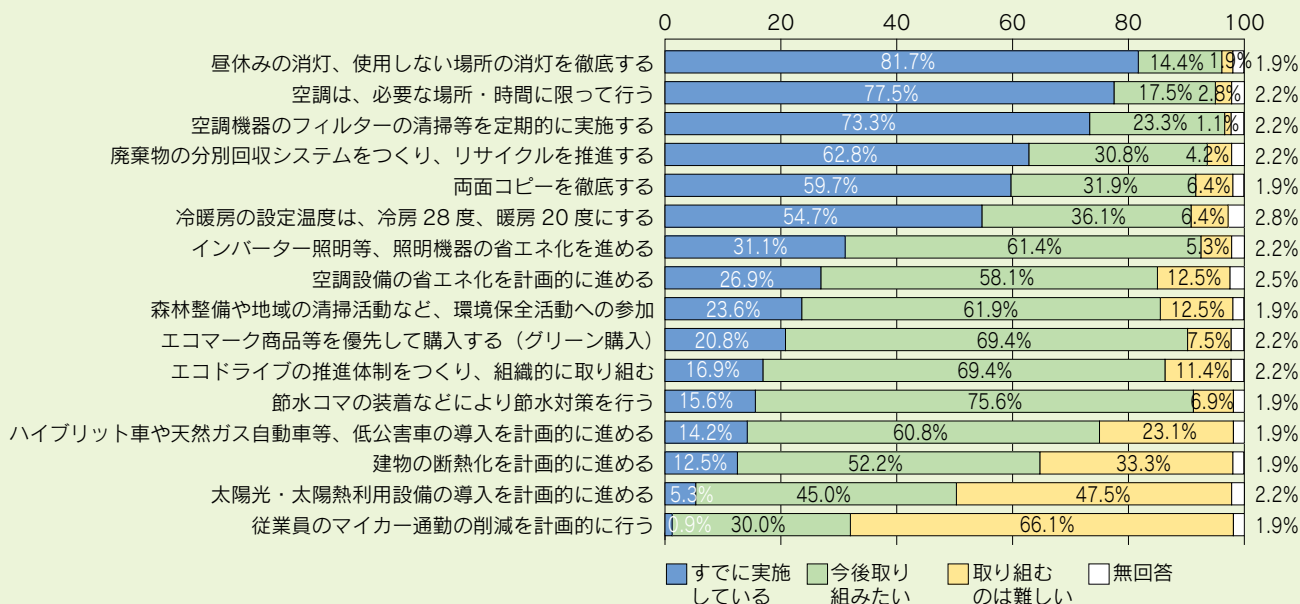
県では昨年、官民協同で実効的な地球温暖化対策について検討する「地球温暖化防止プロジェクト」を発足し、多くの県民が地球温暖化防止行動に取り組むことができる「県民アクションプラン」の策定を進めてきましたが、本プロジェクトでの検討の基礎資料とするため県民、事業者の意識調査を実施しました。

事業者では、「省エネなど、企業活動にもメリットがある範囲で温暖化対策に取り組む」と回答した割合は57.5%で、「企業の社会的責任として、企業活動にある程度影響があっても取り組む」（41.7%）を上回るなど、「環境」と「経済」の両立が改めて必要なことが伺える一方で、温室効果ガスを削減する施策の手法としては、「規制的方法」が41.7%と「自主的な取り組みを推進する方法」（32.5%）や税や補助金等による「経済的に誘導する方法」（25.3%）を上回るなど、県として積極的な取り組みが重要であることも推察されました。

また、各事業所における環境保全の取り組み状況と今後の取り組みについては（下図参照）、「すでに実施している」と回答した割合が高い項目としては、「昼休み、使用しない場所の消灯」、「空調は必要な場所・時間に限る」「空調機器のフィルター清掃等を定期的実施」の順で、反対に「取り組むのが難しい」と回答した割合が高い項目は「従業員のマイカー通勤の削減を計画的に行う」「太陽光・太陽熱利用設備の導入を計画的に進める」「建物の断熱化を計画的に進める」となりました。

県ではこれらアンケート結果も踏まえながら、群馬にふさわしい地球温暖化対策に関する条例の制定に向け来年度検討するとともに、条例と連携した環境GSのあり方についても議論を深めていきたいと考えています。アンケート結果について詳しくお知りになりたい方は、県環境政策課へお問い合わせください。

なお、今回の特集では年度末を目前に控え、環境GS認定制度の運営状況についてご報告します。



19年度の運営状況について

認定2年目を迎えた環境GS認定制度（以下、「環境GS」という。）ですが、多くの事業者のご理解をいただき、今年度は209の事業者を環境GS事業者に認定いたしました。また、新しい取り組みとして、環境GSニュースにGS事業者の横顔コーナーを開設したほか、エコ改修資金では新エネや省エネ設備の導入にも融資対象を拡大しました。今回はこれら環境GSの19年度の運営状況についてご報告します。

認定状況

18年度の認定事業者のうち継続認定を受けた事業者は292。19年度認定の209事業者を加えると19年度末の認定事業者数は501となりました。

図表1 業種別・規模別内訳

事業者の内訳	H18 (A)	左のうち継続 (B)	H19 (C)	計	
				認定総数 (A+C)	認定数 (A+B)
業種別	農林水産業・鉱業		0	9	9
	製造業	63	57	119	182
	建設・設備・廃棄物処理業等	127	101	44	171
	商業・金融・サービス業等	95	80	29	124
	運輸業	57	54	8	65
規模別	1～9人	99	69	43	142
	10～99人	189	173	1137	326
	100～499人	40	38	27	67
	500人～	14	12	2	16
	計	342	292	209	551

平成18年度結果報告書

報告・継続申請書の提出のあった297事業者、1268項目の取り組みを取りまとめた結果報告書を作成し、公表しました。認定事業者が設定した評価指標でみると、短期目標については過半数（54%）の指標が目標を達成し、今年度の実績を前年度と比べてみると、80%を超える指標で改善が見られました。



環境GSニュース(3回)

環境GSの取組を進めていくに当たり、業態に応じた効果的な取組や推進体制の整備、従業員への周知方法などについて、専門家が事業所を訪問して無料でアドバイスする、環境GS推進員の派遣を174回実施しました。なお、20年度の派遣を希望される方は、(財)群馬県産業支援機構へ申請してください。

環境GSニュース(3回)

11月、1月、3月(本号)の3回発行し、環境GSについてのお知らせのほか、環境と経営に関する情報や国・県の温暖化対策の動向などについて紹介しました。また、環境GSで特に力を入れている取り組みや今後の抱負など事業者の生の声をお届けする「GS事業者の横顔」のコーナーを1月号から掲載しました。



環境GSマネージャー研修会(2回)

資源・エネルギー価格が高騰するなか、省エネルギー対策を主なテーマに、専門家を招いて12月と2月の2回開催しました。また、第2回研修会では、認定事業者相互の情報交換を進めていただくため、2事業者から環境GSの取り組みについて事例紹介をしていただきました。

【第1回】12月6日(木) 高崎市総合福祉センター

講師：竹内章悟(東洋大学国際地域学部教授)

テーマ：資源価格の高騰と事業者の省エネ対策

【第2回】2月14日(木) 前橋市総合福祉会館

講師：関井清隆((財)省エネルギーセンター技術専門職)

テーマ：企業における効果的な省エネ対策

～事例紹介を中心に～

認知事業者事例紹介：

- ・マルシン産業(株)(安中市板鼻827-1)
- ・大島倉庫運輸(有)(前橋市下大島町573)



第2回研修会での関井講師の講演風景



リサイクル体制の整備による廃棄物削減など社員一丸となった取り組みを紹介するマルシン産業の中村尚雄社長室長(右)

低公害車の計画的導入を初めとした環境問題への取り組みを紹介する大島倉庫運輸の関口宣男社長(左)

環境GS企業エコ改修資金

19年度から対象を拡充し、環境GS認定を受けた中小起業家が、省エネルギー設備の設置や新エネルギー設備の設置・改修工事を行う場合も対象となりました。

- ・実績 1件
- ・内容 太陽光発電システム(10.5kw)
- ・貸付金額 7,000千円
- ・事業者 上毛資源(株)(前橋市高井町1-13-4)



本社屋上に設置された太陽光パネル

新ホームページの作成

群馬県のホームページに加え、検索機能や情報発信機能を充実させた、環境GSの新しいホームページを作成し、4月から公開します。

【追加される主な機能・内容】

- ・環境GSニュース、マネージャー研修会の概要、結果報告書等の掲載
- ・環境GS推進員のホームページを通じた派遣申請
- ・索引・検索機能などを付加した事業者情報の充実
- ・県・機構からの機動的な情報提供

※新ホームページアドレス <http://www.g-inf.or.jp/gs/>



作成中のホームページ

桐生信用金庫 本店



認定番号 180281
住所 桐生市錦町2-15-21
電話番号 0277-44-8181
従業員数 435人
代表者 坂田忠男
GSマネージャー 平野善一
サブマネージャー 長澤利行

わが社の一押し

桐生信用金庫は、「人、地域、環境」をテーマに、様々なCSR活動に取り組んでいます。電気や紙の節約はもちろん、独自に開発した金融商品により、環境問題に取り組む企業や個人の方を積極的に応援しています。

群馬環境GSに認定されている企業に対して金利を優遇する事業性ローン「環境サポート」もその一つです。昨年には、チームマイナス6%に参加し、500名以上の役職員がCO₂を減らす国民運動「私のチャレンジ宣言」を宣言しました。また、環境配慮型定期預金の「エコ定期」を発売し、役職員だけでなく地域の皆様と一緒に環境問題に取り組んでいます。

現場からひとこと

協同組織金融機関である信用金庫は、地域と密接な関係で成り立っており、社会的責任型経営を実践する上で最適な組織形態です。地域の皆様から求められる期待や社会的要請にひとつひとつ応えていくことが第一歩と考えています。

赤城鉱油(株)



認定番号 180008
住所 みどり市大間々町1668
電話番号 0277-73-0194
従業員数 52人
代表者 松原 豊
GSマネージャー 河野庸行
サブマネージャー 斉藤 薫、高橋 守

わが社の一押し

産業廃棄物の収集運搬及び中間処理（油水分離の処理、焼却処理）を行っている当社の収集運搬部門では、現状を把握し、無駄を省き、効率的な運行を目指し、燃料の原単位を下げるよう努力しております。焼却部門では、受託廃棄物の物性を把握してデータ化し、夫々を混合し均一な状態にして安定した完全燃焼処理を行い、使用するエネルギー原単位を下げるようにしております。

尚、全員参加を目指し、環境ISOの維持審査は年2回行っております。

現場からひとこと

我々もより効率的な運行を目指しておりますが、燃料使用の絶対量をちょっとでも減らすことが、一番効果的だと思います。県内にいらっしゃるGS事業者の皆様、環境負荷削減のために貴事業所から発生する廃油のリサイクルに関してのご連絡をお待ちしております。ご協力お願いいたします。

サンデンシステムエンジニアリング(株)



認定番号 180139
住所 伊勢崎市宮子町3450-8
電話番号 0270-21-9641
従業員数 145人
代表者 松浦信明
GSマネージャー 細谷泰治
サブマネージャー 一瀬大史

わが社の一押し

当社の「環境方針」は、SI（システムインテグレーター）企業としての活動において環境影響を少なくすることにあります。全ての「無駄」の徹底排除を合言葉に、「無駄取り」に取り組むため、サーバー統合、ネットワーク環境の整備ITインフラ面での効率化徹底と合せ、情報漏洩リスクも鑑み、ポータル活用によるコミュニケーション基盤整備を実現、より一層のペーパーレス化を進めています。

また、全員活動の一環として本社周辺の清掃を1回/週を継続実施しており、みんなの意識も高まってきたと感じています。

現場からひとこと

私たちの会社は小さな会社ですが、サンデングループの一社として企業理念の考え方（CSR）を率先垂範していきたいと考えています。山椒は小粒でもピリッと辛い、「流石、SSE!!」と言われる会社を目指します。

インターワイヤード(株)桐生工場



認定番号 180056
住所 桐生市東3-1-17
電話番号 0277-44-2757
従業員数 44人
代表者 片柳 豊
GSマネージャー 橋本光夫
サブマネージャー 広瀬正行、菊地孝弘

わが社の一押し

インターワイヤードは21世紀の企業のあり方として、経済活動と地球環境保護を両立できる企業のみならず社会的価値があると考え、地球環境の保全を重要な経営課題の一つとして位置づけております。

2000年12月20日に全社（本社・桐生・岩手・郡山）でISO14001を取得桐生工場ではCO₂削減を、品質・環境の目標に掲げて活動しております。

現場からひとこと

私たち環境改善推進グループは、当社の環境側面に適用可能な法規制、及び同意に基づくその他の要求事項の遵守と、工場内作業環境の継続的改善を目的とした構内パトロールを毎月1回の頻度で行い、環境改善に繋げております。

今後お客様に満足していただけるよう、品質・環境目標の達成と顧客満足度のさらなる向上に努めてまいります。

太陽コンクリート工業(株)



認定番号 180136
住所 高崎市下豊岡町519-2
電話番号 027-322-6070
従業員数 34人
代表者 富沢 好隆
GSマネージャー 富沢 康治
サブマネージャー 山田貴人

わが社の一押し

当社は今年度の品質方針にて重油、ガソリン、電気の使用量を削減すべく、一丸となって環境活動に取り組んでおります。また、市民参加のイベントにて300本の苗木・花の配布を行い、新たに開発した環境商品の説明をさせていただきながら、環境への取り組みを皆様と一緒に考える活動をしております。今期は下水道汚泥のリサイクル製品の製造による地元でのリサイクル活動へも力を入れ、自分達で出来る事に取り組んでいます。

現場からひとこと

いま、環境問題が世界的規模で注目されている中、企業として、社員1人1人が責任を持って環境に配慮した活動で、掲げた目標をクリア出来るよう環境改善活動に努めていきます。

(社) 群馬県トラック協会



認定番号 180069
住所 前橋市野中町595
電話番号 027-261-0244
従業員数 15名
代表者 三浦 文雄
GSマネージャー 五十嵐 甫
サブマネージャー 吉田三郎、仲田昌広

わが社の一押し

トラック運送事業者団体であります当協会では、会員事業所におけるCO₂排出量抑制のため、低公害車導入促進、エコドライブの普及促進、EMS（エコドライブ管理システム）関連機器の導入促進、輸送の効率化の促進などに積極的に取り組んでおります。当協会事業所は、不要な照明の消灯や冷暖房の節約、印刷枚数の削減、エコドライブの実施、低公害車の導入などに取り組んでおります。協会保有の巡回指導車は、現在4台中、3台が低公害車（ハイブリッド車、CNG車）となっております。

現場からひとこと

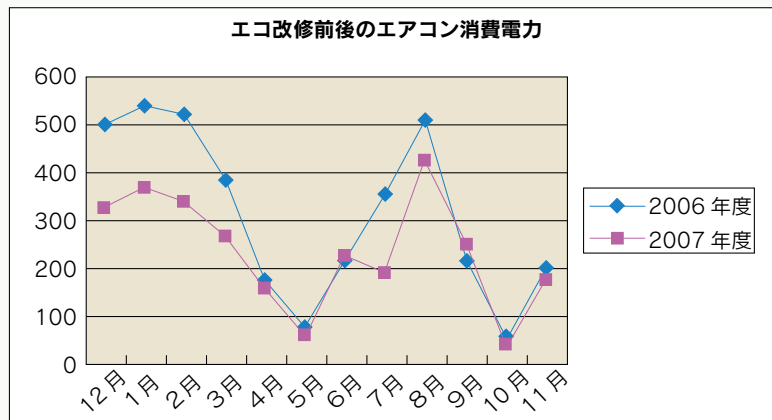
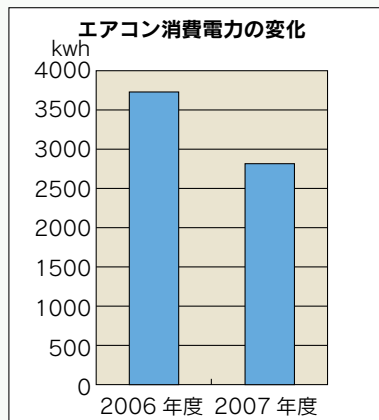
より地球温暖化対策の成果を上げるためには、全役職員が「地球温暖化防止のためには実践的な行動が必要である。」という思いを共有することが肝要であります。これからは省エネ・廃棄物削減などにつながる取り組みを積極的に実践し、成果を出していきたいと思っております。



事業所における省エネルギーのポイントはいろいろありますが、今回は、多くの事業所に共通性があり、費用対効果の高い空調とコンプレッサーの省エネルギーについての事例を紹介いたします。エコ改修資金という低利融資制度もありますので、活用を検討してみてください。

1. 空調の省エネルギー

工場でもオフィスでも、温度環境を保つための冷暖房に多くのエネルギーを消費しています。私の会社では2005年10月に屋根の断熱工事を行い、12月には「環境GS企業エコ改修資金」を活用してエアコンを更新しました。その結果、エアコンの年間消費電力（200ボルト）は改修前の3,751kwhから改修後は2,821kwhまで約25%削減できました。エコ改修資金は省エネ率10%以上の改修工事に対して2000万円を限度として低利融資が受けられる制度ですので、改修を検討している事業所は県の環境政策課にご相談ください。



訪問先の事業所で、室内に直射日光が差し込んでいる状態のまま、エアコンだけで冷やそうとしている光景をときどき見かけます。夏季には室内に侵入する熱の7割以上が窓からと言われていて、これを遮断することで冷房の効率が向上し、省エネになります。最も効果的なのは外側ブラインドですが、まだ一般化していないので、すだれやよしずでもいいと思います。緑のカーテンを設置する事業所も増えてきました。この夏に向けてぜひ何らかの遮光対策を実施することをお奨めします。また、ほこりやミストの多い職場では、フィルターや熱交換器の定期的な点検と清掃が必要です。夏前にぜひ確認してみてください。

2. 製造設備の省エネルギー

製造現場では多くの工作機械が電力を消費しますが、業種を問わず共通して使われているのがコンプレッサーで、平均的には工場設備全体の25%程度を占めるといわれています。特に夏場はコンプレッサー室の温度が上昇し、効率が低下しますので、換気を徹底することが必要です。逆に冬場はダンパーで切り替えて排気を暖房補助に活用している事業所もあります。いずれにしても、効率的な運転にはフィルターの目詰まり防止のための定期的な清掃が必要です。また、エア漏れが放置されているケースも見られます。休日前後にチェックして漏れを防止することが大切です。「水と空気はタダ」というような意識がありますが、圧縮空気1m³には約2円のコストがかかっています。昼休みや夜間など、必要空気量が少ないときには小型コンプレッサーに切り替えることでコスト低減に成功した事業所もあります。また、吐出圧力が必要以上に高く設定されているケースもあります。機器の使用状況を見直して、圧力を0.1Mpa下げると約8%の省エネルギーになるといわれています。※片亀さんは昨年、環境省が実施している我が家の「eco宣言☆」のファミリー部門で平成18年度環境大臣賞金賞（最高賞）を受賞されています。(http://www.eco-family.go.jp/information/notice/070417.html)

(財) 群馬県産業支援機構からのお知らせ 環境に関する簡易な相談から経営課題解決までお手伝いします。

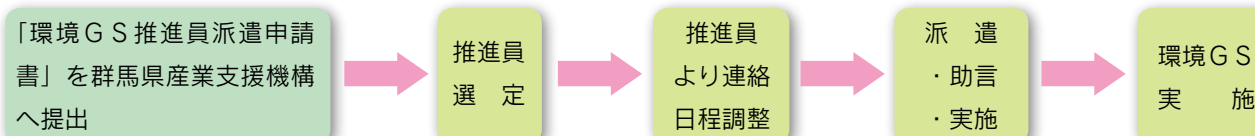
～「環境GS推進員派遣」「産業エキスパートコンサルティング事業」のご案内～

■環境GS推進員の無料派遣（群馬県産業支援機構）■

環境GS認定事業者又は認定を受けようとする事業者に対し、その取り組みや申請事務等に係わる助言・支援を行うため、環境GS推進員を派遣します。
*事業者の費用負担はありません。

お気軽にご連絡ください。
県のHPに推進員一覧が掲載されています。

1. 環境GS推進員の派遣手続き



2. 環境GS推進員の派遣業務内容（1～2時間程度）

- ①環境GS認定制度の実施に関する助言・支援
- ②省エネ等に関する情報提供

専門家派遣の問い合わせ先

財団法人 群馬県産業支援機構 企業支援グループ TEL 027-255-6561
*申請書は県のホームページからも取得出来ます。
<http://www.pref.gunma.jp/d/01/gs/guidebook.htm> 様式3（環境GS推進員派遣申請書）

■専門家派遣事業（産業エキスパートコンサルティング事業）■

▼支援対象

群馬県内に事業所があり、経営課題が明確で、専門家派遣により、支援の効果が期待できる状況であると判断される中小企業等

▼支援方法

派遣要請書及び訪問調査をもとに審査を行い、採択・不採択を決定します。その後実施計画書を作成し、それに基づいて専門家が直接企業に訪問して助言指導を行います。

▼派遣回数と費用

☆各要請に応じて決定いたします。原則として1社につき12回以内となります。（ただし、ISO・Pマーク等の認証取得にかかる支援は4回以内。）

☆派遣にかかる総費用は（謝金45000円＋旅費）×派遣日数 このうち、1/2を負担していただき、残り1/2は当機構で負担いたします。

▼専門家

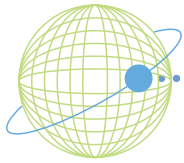
当機構登録の300名を超える各分野のプロフェッショナルの中から、貴社の課題解決に最適な方を選定の上、派遣いたします。希望の専門家がいる場合は指名することも可能ですが、必ずしも指名の専門家が派遣されるとは限りません。相談の上調整します。

▼申請方法

所定の要請書に必要事項を記入・押印の上、郵送または持参にてご提出ください。

専門家派遣の問い合わせ先

財団法人 群馬県産業支援機構 企業支援グループ
TEL 027-255-6503 FAX 027-255-6161
*申請書の様式は産業支援機構のホームページからも取得出来ます。 <http://www.g-inf.or.jp>



1 平成 20 年度群馬県予算のあらまし

3月19日、平成20年度群馬県当初予算案が県議会で承認されました。本年度から中小企業向け制度融資に関する予算が一般会計から分かれて特別会計となったため予算総額は6,537億円ですが、前年度と同様に特別会計も含めた額では8,152億円と、対前年比100.9%となっています。

歳入関係では、原油価格の高騰や為替の乱高下等の影響により景気の減速感が強まる中、法人関係税を中心に平成19年度予算額の確保が厳しい状況になっていることから、県税収入は対前年度と同額の2,620億円を見込んだほか、地方交付税1,216億円(▲1.5%)、県債発行額712億円(+9.5%)で、県債依存度は10.9%となります。

歳出関係では人件費2,426億円(+0.3%)、公債費825億円(▲1.1%)と抑える一方で、補助公共事業592億円(+2.4%)、単独公共事業333億円(+3.8%)を確保しました。

なお、予算編成に当たっての3つの柱と重点項目は次のとおりです。

1 県政の刷新

少人数を優遇する事業の見直し 県庁でのイベントの見直し 歳入確保対策
「生活文化部」の新設、「企画部」の機能強化 県民局の簡素化・効率化

2 暮らしに安全・安心を

子育て支援 医療の確保、福祉の充実 環境問題への取り組みを充実 防災対策の充実
治安・生活環境の安心・安全 交通安全・交通環境の整備 教育・文化・スポーツの振興

3 県経済に活力を

県の魅力を総合的にPR 企業誘致・中小企業対策 農業・林業の振興 雇用対策
幹線道路などの社会基盤整備の充実

※平成20年度群馬県当初予算について詳しくは、群馬県のホームページをご覧ください。

2 群馬県循環資源交換情報制度 (ゼロミッション情報ネットワーク)のご案内

県内企業から排出される廃棄物ゼロを目指し、県ホームページを利用して「群馬県循環資源交換情報制度」を運用しています。この制度は、廃棄物等の循環資源の発生情報と利用情報を結びつけ、排出者と有効利用者の紹介等を行って、循環資源の利用促進を図るもので、事業者にとっても廃棄物処理費の削減や原材料購入費の節減等の効果が期待できます。現在、ホームページに掲載する事業所の情報を募集しています。

■制度の対象

- ・有効利用が可能な廃棄物(循環資源)を排出し提供したい事業所
- ・有効利用が可能な廃棄物(循環資源)を受入れ利用したい事業所

■制度利用料：無料

■申込期間：随時

■申込方法：所定の申込用紙(様式はホームページからダウンロードできます)を提出(郵送可)

■申込・問合せ先：環境政策課リサイクルグループ(TEL:027-226-2824 FAX027-243-7702)

■ホームページアドレス：http://www.pref.gunma.jp/cts/contents?CONTENTS_ID=37724

※ 次回の環境GSニュースは7月に発行します

編集・発行

群馬県環境政策課
TEL: 027 - 226 - 2817
群馬県産業支援機構
TEL: 027 - 255 - 6561

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
FAX: 027 - 243 - 7702
〒371-0854 前橋市大渡町1-10-7
FAX: 027 - 255 - 6161



環境に優しい「大豆油インク」を使用しています